-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、医学教育センターでは、本学で保管している臨床実習中の Mini-CEX（指導医が学生の実際の患者診察を直接観察して行う形成的評価）の記録を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の記録を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でもあなたに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]　Mini-CEX 合意学習課題の「LLM 反実仮想版との行動可能性差」：LLM 反実仮想生成と専門家盲検ペア比較による定量化

[研究対象者]

2020年4月～2026年3月までの間に、本学の臨床実習において実施された Mini-CEX について、次の（1）（2）に該当する方が研究対象者となります。

（1）当該 Mini-CEX を受けた医学生

（2）当該 Mini-CEX において評価者として記録を記入した指導医（記録当時に本学に在職していた方を含みます。現在ご退職されている方も対象となります。）

[利用している情報の項目]

（1）Mini-CEX の記録：診療科・実習科目・必修／選択の別・実習期間・実施日、評価場面の情報（Situation・Focus・症状／疾患名）、8 つの能力評価点（病歴聴取、身体診察、コミュニケーション、プロフェッショナリズム、臨床判断、マネジメント・効率、総合臨床能力、患者安全）、観察時間・フィードバック時間、評価者および学生の満足度、自由記述（特に良かった点・改善すべき点・観察者と合意した学習課題）、学籍番号および評価者氏名（研究用 ID に置き換えるための照合にのみ使用し、解析には用いません）。（2）実習ポートフォリオに含まれる記録：実習ノート、学生評価表、履修項目チェックリスト。

[利用の目的]　（遺伝子解析研究： 無 ）

Mini-CEX で指導医と学生が合意した学習課題について、その記述の質（次の行動が具体的に示されているか＝行動可能性）を、同じ状況で大規模言語モデル（LLM：大量の文章で学習した言語生成モデル）が生成した参照版と比較して定量的に評価することを主たる目的としています。あわせて副次的な検討として、記述の質が高い学習課題が、その後の実習記録において実際に取り組まれているかどうかを調べます。これらにより、臨床実習における形成的評価（フィードバック）の改善に役立つ知見を得ることを目指しています。

[研究実施期間]　倫理審査委員会承認後より2030年3月までの間（予定）

[この研究での情報の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報に含まれる学籍番号および評価者氏名は、解析を始める前に研究用 ID に置き換え、個人が特定されない状態に加工したうえで取り扱います。ID と個人とを照合するための対応表は、解析に用いるデータとは分けて管理し、解析を担当する者は参照しません。LLM による解析にあたっては、この加工を行ったうえで、自由記述に含まれうる患者の情報をマスキングして、個人を識別できない情報のみを、入力データを保存しない方式（Zero-Data-Retention）で処理します。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学　理事長　清水　治
研究責任者：東京女子医科大学　医学教育センター　准教授　鈴木　敦
研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学　医学教育センター　准教授　鈴木　敦
電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9 時～16 時）